

防災



中学校

高校

総合

NHKスペシャル

49分

汚された大地で

チェルノブイリ20年後の真実

(2006年放送)

この番組の良さ



チェルノブイリ原発事故から20年

1986年4月26日未明、旧ソビエト・ウクライナのチェルノブイリ原子力発電所の4号炉が爆発し、建物の屋根が吹き飛ばされ大量の放射性物質が飛び散りました。この番組はチェルノブイリ事故から20年経って何が起きているのかという観点で制作されています。

わが国でも2011年に地震・津波により原発事故が起きました。日本の子どもたちにとって、原発事故後に起こりうることを知っておくことは非常に大切なことです。

真実を突き止めようとする人々

「いまだわからないことばかり」とも言われる放射線の人体への影響。健康被害に苦しみ続ける人々の苦悩とともに因果関係の究明を続けている医師や研究者たちの様子が描かれています。

番組活用のポイント

放射線の人体への影響

史上最悪のチェルノブイリ原発事故から20年。事故の後、放射性物質の除去や原発をコンクリートで覆う作業などに従事した人々（リクビダートル）とその家族にがんを患う人が増加している。広島でがんが本格的に増え始めたのは被ばくから20年経った後のこと。長期にわたる放射線の人体への影響について考えるきっかけとなります。

限定的に見る報告書

2005年にIAEA（国際原子力機関）などからなる委員会がまとめたチェルノブイリの影響に関する報告書はどのようなものであったか。それに対する各国の研究者たちの反応はどのようなものであったか。真実を究明しようとする研究者たちの姿から大切なことは何かを考えさせることができます。

子どもたちへの影響

事故から5年後、広島・長崎の原爆の被爆者ではほとんど見られなかった小児甲状腺がんが次々と見つかり、10年後には事故前のおよそ100倍に急増。20年後には小児甲状腺がんはほとんど見られなくなり、大人の甲状腺がんが急増している事実。これは放射性ヨウ素の影響であると考えられています。

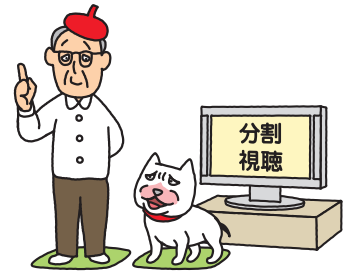
また、これまで確認されていませんが、被ばくした本人には現われず、その子孫に現われる遺伝的影響が懸念されています。番組では研究者と染色体異常が見つかった被ばく者家族との交流が描かれており、家族の心情を推し測ることが出来ます。

(井上 勝)

学習展開例

授業時間 100分

原発事故の残したものは 放射線の人体への影響



時間配分	学習活動	教師の支援
10分	<p>①番組を視聴する。</p>  <p>視聴 ・放射性物質の除去や原発をコンクリートで覆う作業などに60万の人々が動員された (開始～3分22秒)</p>	<p>○視聴前にチェルノブイリ原発事故の概要を説明する。</p>
15分	<p>②放射線について知っていることを発表し、知識を共有する。</p>	<p>○放射線についての基礎知識などをまとめた資料を配付し、説明する。</p>
25分	<p>③続きを視聴する。</p>  <p>・2005年に事故と健康被害との因果関係を限定的に見る報告書が発表された (3分22秒～18分37秒)</p> <p>④IAEAについて調べる。</p>	<p>○IAEA本部で行われた会議で発表された報告書の内容に着目させたい。</p> <p>※コンピュータ室での視聴を前提</p>
30分	<p>⑤続きを視聴する。</p>  <p>・事故から20年 小児甲状腺がんはほとんど見られなくなったが大人の甲状腺がんが急増した</p>  <p>・ベラルーシでは、広島・長崎では否定された「遺伝的影響」が報告された</p> <p>汚染が少ない地域 110人中75人 68%</p> <p>汚染地域 27人中24人 89%</p>  <p>・事故の幕引きの動きがある中、真実を突き止めようとする医師たちの治療と研究が続いている (18分37秒～終わり)</p>	<p>○健康被害に関連することについてメモをとるよう指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部被ばく ・放射性ヨウ素 ・白血病 ・セシウム ・低線量長期被ばく ・被ばくによる遺伝的影響 <p>○以下のような点に着目させたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベラルーシ政府の汚染対策 ・日本人医師の懸念 ・IAEAが出した報告書の改訂版の内容
20分	<p>⑥まとめとして感想を書く。</p>	<p>○被ばく者とその家族の気持ちを考えさせたい。</p>

コラム 放射線などに関する副読本

放射線などについての基礎知識を学ぶためには文部科学省発行の放射線などに関する副読本を活用するとよいでしょう。校種別に「放射線について考えてみよう」(小学校児童用)、「知ることからはじめよう放射線のいろいろ」(中学校生徒用)、「知っておきたい放射線のこと」(高等学校生徒用)があり、教師用解説書もあります。掲載データは下記URLのページで閲覧、ダウンロードできます。

http://www.mext.go.jp/b_menu/shuppan/sonota/attach/1313004.htm